



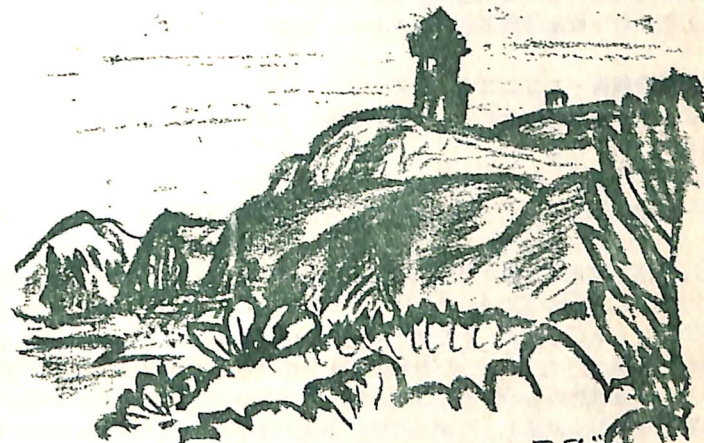
函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第525回例会

1974~1975 第21号 1974. 11. 20

「Renew the Spirit of Rotary」
「ロータリーの精神を振るい起こせ。」
(William R. Robbins R.I. 会長指針)



小砂子の岬

椎谷龍彦会員

下 54

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

「未 定」

第524回例会記録

- ◎司 会 青柳 喜一会長
- ◎斉 唱 我等の生業
- ◎ゲ ス ト 関 輝夫氏・佐々木信雄氏
- ◎ビジター 函 館R.C. 細居 俊司君 他8名
函 館 東R.C. 高野 武久君 他3名
函館五稜郭R.C. 西村 憲人君 他6名

500円位ものが300冊位と1,000円位ものは500種類もありました。その他ではテープが2,000円から3,000円位です。ブルーフィルムは1本1万円、3本買うと2万5千円にするとのことでした。店の奥で映画をやっていますが2,000円位約1時間位で7本位やっています。それで夕食の時に皆さんに報告して夕食後皆さんを案内して歩行者天国に行きましたが、こゝで皆さんとわかれました2度目の探訪に出ました。そしてもう少し進んで駅に着きました。駅のもう少し先に行きました。そこで飲み屋で学校の先生と一緒にになった所、ビールを呑めと言うんです。何故だと言ったら、このビール会社は儲けたお金でまず美術館を寄付した。その後又図書館或いはそういう施設を寄付した。だから我々もビールを呑み、皆にもビールを呑んでもらって儲けて貰って又何かを寄付して貰うんだと言うことです。それから又歩くときヤホールがあるので入って見ました。入場料500円をとられ、コートをあづかって入ったら300人もいてビックリしました。そして坐る所がないと思ったら向うで手まねきする人が居るので行くとその人はお医者さんと奥さんと妹さんと三人できてました。ビールは大きいジョッキが1杯550円で1杯ずつお金を払います。呑みながら唄い、又踊るところで、その内に椅子の上に乗って皆で手をつなぐ又その椅子に坐ると言うことで男も、女もジーパンスタイルです。医者はこゝはラフなスタイルで来る所だと言うのでネクタイを取って一緒に唄い呑んだんですが、一杯呑む度に女の人がテーブルの下からハンドバッグを引張り出して金を払い又テーブルの下にボンと投げて踊って歩いている、それで物がなくなると言うことのない所です。そこで何時迄だと聞くと2時迄やると言う事なので、それじゃ失礼すると言うことで帰って来たが、外に出てからタクシーに乗った所、運転手が日本のお巡りさんの様な恰好してました。ホテルの前で車を降りて部屋に入ると皆が集まっているので、どうしたと聞くと、お前が帰ってこないからどうしよう。と相談してたら、車がついてお巡りさんに連れられて来たではないかと言うので、そうではない、かくかくしかじかだと皆にお話しました。この様にデンマークでは家族ぐるみで皆が集って楽しむんだなあーと思いました。

◎出席報告 (10月30日)

会 員 数	53 名	出 席 率	函 館 北 (10/30)	98.11%
出 席	45 名		亀 田 (10/21)	82.34%
欠 席	8 名		函 館 東 (10/22)	98.92%
他クラブ出席	7 名		函 館 (10/24)	93.02%
出席合計	52 名		函館五稜郭 (10/25)	100%
出席除外者	0 名			

★誕生祝 平野・市川・宮崎・俣野・外山・広瀬・深瀬各会員

★第522回例会欠席者 (11月6日)

大井・森(富)・小村・成田・成沢・小笠原・佐々木・柴田・駒井・山内(文)・北条
佐藤・山矢・平山 (以上14名敬称略)

次回例会日 11月20日

プログラム 「市政全般について」

函館市長 矢野 康氏

◎会長報告

柴田量司会員一身上の都合で10月31日退会されました。

第3回アッセンブリーを11月6日開催致しました。議題は委員会活動の現況と本年度の残された8ヶ月間の計画。クラブのありかた。会員の心がまえ。について皆様、熱心に討議され内容の充実したアッセンブリーでした。

◎幹事報告

①第3回アッセンブリーが11月6日6時30分より湯の川一の松に於て開催されました。

引続き7時30分より親睦懇親会があり、9時終了しました。28名の出席でした。

②本日例会終了後臨時理事会を開きます。理事の方お残り下さい。

◎親睦委員会報告・ニコニコボックス

俣野会員・北海道医師会にて多年医学衛生に功労があったと表彰されたのを記念して。戸栗会員、何んとなく。

椎谷・成沢・大江・山矢各会員より、アッセンブリー欠席と言うことで。

森(富)会員、長くホームクラブ欠席と言うことで。

◎卓 話 交通安全対策と交通災害共済制度について 函館市役所・市民部長

関 輝夫氏

時間をちょうだいしまして有難う御座居ます。『ああもしたい、こうもしたい、しかしなかなか手がつけにくい、しかもどこか、かけている様だ』これが毎日交通安全の仕事をしている私共の心の底のどこかに持っている気持で御座居ます。交通安全対策の仕事は警察指導型でありましたが、近年地方自治体に中心が移って参りました。実際の仕事は市民の協力、お力添えがなければ何も出来ない現状であり、警察の方もつかれが見えて来ております、と申しますのも事故があとをたたないからで御座居ます。

人間一人殺された時のさわぎは大変なものにもかかわらず、交通事故死の場合、感覚がマヒしたと申しましょうか、なれと申しましょうか、空おそろしく感じられる昨今で御座居ます。函館市が安全都市宣言をしたのは36年3月6日で以来交通安全問題と取り組み、43年から交通災害共済事業を全国に先きがけて始めております。自転車安全利用計画は48年から発足しました。

御存知の様に49年5月から10万人以上の都市には総合交通規制が施行されました。道路を人の為に取りもどすと言う此の規制も、市民からは大変な抵抗を受けました。生活の一部となった自動車利用から非常に不便であるとの声が聞かれます。しかし『北海道は死亡事故全国一』を返上すべく頑張っております。

非常宣言を発して以来事故は減って来ております。現在北海道は第5位にランクされ昨年より死亡事故は240人の減少となっております。函館の場合、昨年より91件の減少死亡者も15人減少と、かがやかしい記録であります。自動車の増加率は年々増大していますが、事故が減っている事は努力が実っていると行って良く、喜ばしい事です。

総合交通規制がなされた他に、交通信号機も倍になりました。不便であるが人の命を守る為にはこれを乗り越えて努力しなければならぬと存じます。函館市は全国に先が

けて交通災害共済制度を取り入れました。市民の加入率は46年をピークに、下り坂になって来ました。市民部としては、皆様に御理解をいただき、1人でも多く加入願いたいと運動しています。此の共済制度は自分の不注意で事故をおこしても最高50万円を限度として給付されるもので、保険とは違い、市民に対する御見舞的、福祉的な性格のものです。手続は非常に簡単です。各職場でもまとめて受付けております。市民が事故のため私が悪い、おまえが悪いともめているその事の以前の必要な共済給付を市が手助けする。子供の自転車事故でも5,000円給付されると言う制度のものであります。『お守りさんより良いぢやないか、こんな良いお守りさんが他にあるか』本当にこんな良い制度が知られない事は残念であります。市としては知られないのは怠慢であると心得てアピールしたいと努力しています。どうぞ職場の事業主からも職場ぐるみで加入に御力添えを願いたいと思います。

★会話に努めない人 庭山 慶一郎氏

人と向き合っているとき、話題がなければいつまでも黙っていても「間」がもてる間柄は、夫婦や親子でなければ特別に親しい友人に限られる。それ以外の場合は話題がないからといって黙っているわけにはいかない。話題を見つけようと気を使い、どうしても見つからないときは天候の話をする事になる。天候の話なら相手が誰であっても一向に差支えないし、場所柄を考える必要も余りない。日本は春夏秋冬気候の変化に富んでいるから話題として長持ちがして恰好である。

会話はこちらばかりが一方的にしゃべってはいは失礼になる。話の糸口を引き出せば相手がその話題に乗って来てくれることをこちらは期待している。ところが世の中にはいろいろの人があって、話すことが面倒なのか、威張っているのか、ぼけているのか、恐らくその何れかだろうが、いくら話しかけてもそれに乗ろうとせず、「イエス」か「ノー」を言うだけであとをつづけない。そうするとこちらはまた次の話題を見つけて会話を絶やささないように苦心する。そのうちに自分の態度が幣間的に思えて来て馬鹿馬鹿しくなり、以後一切こちらも沈黙を守る。座が白けてお通夜のようになって散会となる。

老子に面白い言葉がある「知者不言言者不知」というのだ。しかし、これは単純に沈黙をすすめているのではない。本当に知っているとかかるがしくしゃべれない。かるがるしくしゃべれるものは本当に知らない、ということだ。また逆は必ずしも真ではない。黙っている者は知っているとは限らない。知らないから黙っている場合もある。ただし黙っていれば黙っているのが知っている人に思われて得をする場合もあるので、こちらから話題に乗らずに黙っている人もあるのかも知れない。

軽卒な発言はつつしむべきことは当然だが、余り言葉使いに神軽質になるとスムーズに会話が進まない。表現は荒削りでも誠意があれば人に理解される。親睦が目的の一つである集りで黙っている意味がない。親しい人だけとばかりしゃべるのも礼を失する。むしろいままであまり知らなかった人と努めて会話をし相互理解をはかることが大事である。それには先輩から後輩に長老から若輩に先ず話しかけることが必要だ。社会的に訓練された日本のトップレベルの紳士である東京ロータリーの会員はそんなことはわかっている。(東京R.C.会報より)

★ロータリーの友について

ロータリーの友は地区ガバナーの機関誌として昭和28年1月に、広い意味でのロータリーインフォメーションの普及をその目的として発足した。創刊当初は発行部数 3,000部であったが、21年後の今日(7月号)では68,800部におよび通巻 259号を数えている。

ロータリーの友はロータリーの友委員会によって運営されており、1974~1975年度委員長は安野謙次氏、副委員長は半田利一氏、当地区の地区委員は佐々木貴士児氏に依頼されております。

編集方針は日本の21地区ロータリーのための地域雑誌として、国内のロータリークラブ及び会員の活動状況を紹介し、親睦をはかり、また内外における各種ロータリー情報を掲載してロータリー精神の普及を計り、ロータリー活動の発展に寄与することを目的としています。

「友」の定価は一部 110円、半期 660円となっておりますが、昭和28年1月の創刊号より同年の12月号までは、一部50円であったが、翌29年1月号より一部 100円に改定。これが37年12月号までつづいた。現在の 110円は昭和38年1月号からです。

既に承知の通りの物価の高騰により本誌も昭和50年1月号より定価は一部 200円を予定しています。

友は友誌の他、ロータリー手帖、全国会員名簿を発行しております。

◎第351地区1973~1974年間平均出席率 (在函クラブのみ記載)

- 1. 函館五稜郭R.C. 100%
- 5. 函館東R.C. 98.41%
- 17. 函館R.C. 94.09%
- 21. 函館北R.C. 93.59%
- 42. 函館亀田R.C. 83.50%
- 地区平均 90.79% (ガバナー月信第14信 49. 6. 30より)

◎出席報告 (11月6日)

会員数	53名	出席率	函館北 (11/6)	96.23%
出席	39名		亀田 (10/28)	81.48%
欠席	14名		函館東 (10/29)	98.71%
他クラブ出席	12名		函館 (10/31)	92.80%
出席合計	51名		函館五稜郭 (11/1)	100%
出席除外者	0名			

★第524回例会欠席者 (11月13日)

次回例会日 11月27日
 プログラム 「下水道について」
 函館市下水道部長 岡川 薫氏

第351地区
函館北ロータリークラブ会報
 The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第526回例会

1974~1975 第22号 1974. 11. 27

「Renew the Spirit of Rotary」
 「ロータリーの精神を振るい起こせ。」
 (William R. Robbins R.I. 会長指針)



小砂子の岬 椎谷龍彦会員 下又

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム
 『下水道について』
 函館市下水道部長 岡川 薫氏

第525回例会記録

- ◎司会 青柳 喜一 会長
- ◎ビジター 根室西R.C. 大阪 光明君
- 函館R.C. 外山 健吉君 他11名
- 函館東R.C. 吉村 昭二君 他4名
- 五稜郭R.C. 浜野 達夫君 他2名
- 亀田R.C. 工藤 隆司君
- ◎斉唱 手に手つないで